



優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第71号



福祉なんでも相談

写真 セミナーの様子

新しい相談事業が始まりました

山形村社会福祉協議会では、地域の皆さんの身近な生活課題をテーマに基礎から学び、生活相談・支援へとつなげていくことを目的に、福祉なんでも相談室/生活相談・支援事業(福祉なんでも相談・支援事業)を新しく立ち上げました。

詳しくは5ページをご覧ください。

地域ふれあい交流事業	1・2
ボランティア交流会	3
「たのみま処」協力会員交流会	4
福祉なんでも相談・支援セミナー	5
村内の福祉施設紹介	6
平成27年度 会費納入結果	7

地域ふれあい

分館社会部と主催し、各地区で



下竹田

新春ふれあい寄席

1月31日(日)下竹田公会堂にて、「新春下竹田ふれあい寄席」を行ないました。満員で大賑わいの会場では、おなじみの古今亭菊生師匠の落語「代書屋」「家見舞い」の2席を楽しみました。最後にはお楽しみ抽選会も行なわれ、笑いで寒さも吹き飛んだひと時となりました。



中大池

お達者ふれあい会

2月7日(日)中大池公民館語り部の館にて、「中大池お達者ふれあい会」を行ないました。

中大池では毎年、地区の高齢者の方を招待して長寿をお祝いする企画を行なっています。

好評により、今回3回目となる「さんさな」さんにご出演いただき、ギター、三線の音色と共に、沖縄音楽等を楽しみました。

会場からは曲目のリクエストが出るなど、温かい雰囲気の中での演奏会となりました。



いい交流事業

イベントを行ないました。



小坂 冬のあったか広場



2月14日(日)小坂公民館にて、「小坂 冬のあったか広場」を行ないました。

今年は地域の方からの「マジックショーを見たい!」というリクエストにお応えし、「マジシャン叶音」さんにご出演いただきました。会場の皆さんにもご協力いただき、驚きのマジックを間近で観賞し、楽しい時間となりました。



山形村社会福祉協議会では、地域の皆さんによる地域の皆さんのためのふれあい交流事業と一緒に企画しています。この1月～2月にも各地区でイベント（交流会）を行なっております。

地域の皆さんが声を掛け合い、集うこと。顔が見えて安心して生活できる地域づくり。そんな福祉コミュニティを目指しております。

「こんな企画を行なって欲しい」「こんな場が欲しい」等のご希望がありましたら、是非お気軽にお問合わせください。

ボランティア交流会

2月20日(土)村内で活動しているボランティア団体、有償ボランティアの協力会員を含めた14団体24名の皆さんが集まり、交流会を開催しました。

「名前ビンゴ」で和んだ後、5グループに分かれて交流しました。

ボランティアセンターから、①広報について②これから挑戦したいこと③地域の方が集まり交流できる場所という3つのテーマを提案させていただき、お茶を飲みながら話し合いをしました。

皆さんに熱い想いを語っていただいた後で、グループごとに発表しました。

グループで共通していた意見が多かったので、一部をご紹介します。



- ・ 会員を募集するのに、どのように広報していいのかわからない。
- ・ 口コミで会員を増やす方法もある。子どもを通しての横のつながりを活用する。
- ・ 若い世代の方に引き継ぎたいが、集まらない。
- ・ 広報まほろばで紹介してほしい。
- ・ 活動できる場所を検討してほしい。

山形村社会福祉協議会としても、地域の活性化につながる活動の支援や広報について、いくつかの課題をいただくことができました。



お問い合わせ先：

山形村社会福祉協議会 ボランティアセンター
住 所：山形村4520-1
電 話：97-2102
担 当：桐原・吉澤

「たのみま処」

協力会員交流会開催

3月9日(水)「たのみま処」協力会員に出席いただき、軽食喫茶ほぼねっとで交流会を行ないました。

ボランティアセンターから、「全体的に高齢世帯からのゴミ出し等の生活に関する依頼が多い。」「昨年に比べると依頼件数も増えている。」という報告があり、会員からのアンケートの結果も紹介をしました。

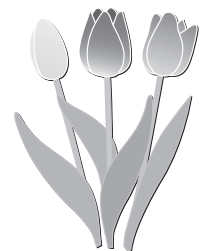
その後お茶を飲みながら和やかな雰囲気の中、一人ずつ自己紹介と活動内容や活動を通しての思いなどを話していただきました。

ボランティアに対する考えや提案・相談などもあり、今後の課題や改善について、日頃から感じている意見が出されましたので、ここに紹介させていただきます。



- ・本人に困った様子はないが、近所の方が心配している事例をどこに相談すればいいのか？
- ・依頼会員さんの生活をありのままに受け止めることの難しさを感じる時もある。
- ・ボランティア同士で気楽に交流できる場所があればいい。
- ・何か人の役に立ちたいが、自分には何ができるのか、また自分自身の体力も心配である。
- ・今後は一人暮らしの方等のお話ボランティアの必要性が高いのではないか。
- ・広報して協力会員を増やす、特に若い世代の方への勧誘が必要ではないか。
- ・ボランティアの窓口がいろいろあり、どこに相談すればいいのかわからない。
- ・専門知識がなく、ある物をどのように使うのかわからなくて困った。

ボランティアセンターでは依頼会員の困っていることや、どの様にして欲しいかをしっかり受け止めて、協力会員の出来ることを確認をし、想いを大切にしながらコーディネートに努めていきたいと思えます。



新しい相談事業がはじまります

福祉なんでも相談・支援セミナー

誰もが気にしていながら、なかなか人に話しづらい自分自身のこと。

自分自身の万が一のこと。財産のことや、家族のこと。「相談するほどでもないし」と思いつつも、心のどこかで気になっていることはありませんか。

山形村社会福祉協議会では、地域の皆さんの身近な生活課題をテーマに基礎から学び、生活相談・支援へとつなげていくことを目的に、福祉なんでも相談／生活相談・支援事業（福祉なんでも相談・支援事業）を新しく立ち上げました。



先日、相続手続支援センター 専門相談員 清水あゆ子氏を講師に招き、下記のことをテーマにセミナーを開催致しました。

どちらも盛況で、約30名の方にご参加いただき、個別相談にも対応しました。

第1回 1月26日(火)「終活とは何か？」

元気なうちに準備しておきたいことや相続のしくみについて、わかりやすく事例等も交えて学びました。思っている以上に自分のことを家族は知りません。まずは身の回りの掃除、片づけからはじめる。万が一の時、残された家族が困らないように事前に準備をしておくことで、結果が大きく変わる等の事例を学びました。

第2回 2月23日(火)「エンディングノートの役割とは」

「エンディングノート」に書くと役に立つ項目や、作成する意味について学びました。

自分が亡くなった時だけでなく、整理することで「今後、より良く過ごすにはどうしたらよいか」を考えるきっかけ・良い機会にもなるそうです。

「エンディングノート」購入ご希望の方はご相談ください。



今後も専門の相談員への「個別相談」や数人のご友人と一緒に参加できる「カフェ勉強会」の相談も受け付けております。興味のある方はぜひお気軽にご相談ください。

—山形村社会福祉協議会福祉なんでも相談室—

村内の福祉施設紹介

〈事業所名〉

株式会社 想礼優(ソレイユ)
サービス付高齢者向け住宅 燦久(サンキュー)

〈所在地〉 東筑摩郡山形村1261-1

〈対象者〉 要介護1～5の認定をお持ちの方

〈定員〉 12名

〈提供サービスの内容〉

- ・ 住居の提供 ・ 安否確認と生活相談
- ・ 介護保険サービスの提供（通所介護と訪問介護が併設）
- ・ 食事の提供 ・ 日用品・散髪の提供
- ・ 医療機関との連携

〈事業所からのPR・コメント〉

季節ごとの行事の開催／家族の宿泊の受け入れ
 臨機応変に対応できる／夫婦で入居も可能



〈事業所名〉

株式会社 想礼優(ソレイユ)
デイサービスセンター サファイア

〈所在地〉 東筑摩郡山形村1261-1

〈対象者〉 要介護1～5の認定をお持ちの方

〈定員〉 1日10名

〈提供サービスの内容〉

- ・ 食事、入浴、排泄等の支援や介護
- ・ レクリエーションの提供・機能訓練
- ・ 生活相談等
- ・ ナイトケア→定員6名1泊1,000円、3食1,350円

〈事業所からのPR・コメント〉

燦久に併設しているデイサービス
 主に介護度の重い方が利用しています。
 365日の営業→基本9時～16時30分の営業
 長時間利用の方には、回想法で日記を書く時間があります。



〈事業所名〉

株式会社 想礼優(ソレイユ)
訪問介護ステーション ありがとう

〈所在地〉 東筑摩郡山形村1261-1

〈対象者〉 要介護1～5の認定をお持ちの方

〈提供サービスの内容〉

- 身体介護
 - ・ 食事介助 ・ 入浴介助
 - ・ 更衣の介助 ・ 排泄介助
- 生活援助
 - ・ 調理 ・ 買い物 ・ 掃除 ・ 洗濯

〈事業所からのPR・コメント〉

- ・ 燦久に併設のステーションのため、随時対応できます。
- ・ 365日営業
- ・ 要請があれば夜間対応しています。



〈お問い合わせ先〉 電話：98-5345 FAX：98-5346

平成27年度／山形村社会福祉協議会会費(賛助・特別)納入結果

社協会費の納入にあたりましては、皆さまより温かいご協力をいただき、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。(平成28年3月17日現在)

●山形村社会福祉協議会／賛助会員会費（1口／3,000円）

賛助会員数	51人	加入口数	59口
-------	-----	------	-----

●山形村社会福祉協議会／特別会員会費（1口／10,000円）

本年度納入口数／（47口）

（敬称略）

5口	小林創建			
4口	JA松本ハイランド山形支所			
3口	サンリン	横山医院	ヤマジン	
2口	森井自動車	竹田の里		
1口	山形村商工会 オーイケ 親和住宅 横水石材店 川上建設 松本信用金庫山形出張所 籠田工務店	平沢土建 山形協立診療所 花岡電子 タカヤマ住設 井上アイシティ21店 宮原医院	丸八種苗園 山形整形外科クリニック 美野里 天理教信濃山形分教会 フロンティア長野営業所 美容室びーと	佐和工業 丸五山形食品 山辺鉄工所 WILL 日清医療食品 タカサワ通商

社協への寄附金等の紹介

【平成27年3月1日以降／敬称略】

寄 附 金

- 平沢麗子
- 宮地完行
- 古川寺観音様奉賛会
- 村内小坂匿名希望 1名
- 村内下竹田匿名希望 1名

合計95,450円

物 品

- 平沢麗子……………裁縫道具等
- 山形村赤十字奉仕団……………尿パックのカバー10個／
足置き10個／ひざ掛け16枚
- 村内小坂匿名希望……………ポータブルトイレ
- 村内下大池匿名希望……………電動ベッド等
- 村内上竹田匿名希望……………郷土資料
- 匿名希望8名……………介護用品等

●●●「みんなで育てたお米を役立ててください」●●●

3月7日(月)山形小学校にて東日本大震災義援金贈呈式が行なわれました。

山形小学校5学年で育て、収穫したお米の用途についてクラスごと相談しました。結果、音楽会で東日本大震災の復興応援ソング「花は咲く」を合唱した経緯もあったことから、120升のお米を保護者の皆さんに購入いただき、義援金として役立てたいと意見がまとまり実行されました。この程贈呈いただいた3万円は、5学年の児童の皆さんの心優しい想いと一緒に関東赤十字社長野県支部を通して被災地に送られました。

尚、収穫したお米はとてもおいしくみのり、児童の皆さんもカレーライスにして試食したところ「とてもおいしかった。」とのことでした。



まほろば（社協広報／第71号）平成28年3月25日発行

- 発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会**（山形村保健福祉センターいちいの里内）
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108
ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
●「まほろば」に掲載されなかった記事についてはホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。